

「こんなに難しかったかな？」（波多野）

クリスマスだ、お正月だと食べてばかりの生活が続き、食べて、食べて…2月になりました。

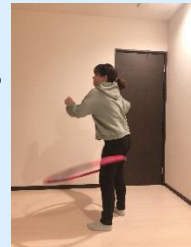
「消費カロリーも増やさねば！」と、手軽なところでフラフープをやってみました。ところがこれが意外と難しく、むきになって何度やってみても5回ほど回すのが限界でした。身体が重くなったのか、固くなったのか…子どもの頃、何も考え

ず簡単に延々と回し続けていたと思うのですが、大人になった今できなくなっている事に衝撃でした。検索サイトを見てみると、フラフープの回し方やコツの動画がいっぱいです。できないのは私だけじゃ

なかったと分かって少し安心しました(笑) 大人になってできる事が増えた半面、子どもの頃にできた

事が、今できなくなっている事ってきっと他にも色々あるんでしょうね。ちょっと切ない気持ちです。

さて、動画を見てどれだけ回せる様になるでしょうか？特訓します。



今さら聞けない 経済用語

今月の教えてキーワード：【6次産業化】

第1次産業（農業・漁業等）の従事者が自身の生産物を第2次産業の加工、第3次産業の流通や販売まで総合的に手掛ける取り組みを指す。農業経済学者の今村奈良臣氏が提唱した造語で、6は「1次×2次×3次=6」の掛け算の概念で説明され産業融合により新たな価値を生み出すことを意味する。所得の向上、ロスの削減、雇用の創出、地域の活性化が期待されるが、収益化までの資金確保や事業計画立案の難しさなど課題も多い。

知っとこ! 「税務のマメ知識」

【新たな旅のスタイルとなるか】

「ワーケーション」「ブレジャー」という言葉をご存じでしょうか。ワーケーションとは「ワーク」と「バケーション」を組み合わせた造語で、テレワークなどを活用しながら普段の職場とは異なる場所で、余暇を楽しみつつ



仕事を行うことです。ブレジャーとは「ビジネス」と「レジャー」を組み合わせた造語で、出張先などで滞在を延長して余暇を楽しむことです。観光庁ではテレワークが浸透し、働き方が多様化しているなかで仕事と休暇を組み合わせた新たな旅のスタイルとして普及を促進しています。とはいえ、会社側からすれば

税務処理などの実務面が気になることでしょうか。これは何を主たる目的としているかによって取り扱いが変わります。例えば、従業員が私的な旅行で空き時間にテレワークを行うようなケースについて往復の交通費を会社が負担した場合は、原則として従業員に対する給与となります。また業務の遂行上必要な研修旅行などに併せてその旅行先で私的な観光を行う際に会社が負担した往復の交通費については、会社の経費として認められ従業員の給与として課税する必要はありません。ただし、研修施設など業務に関する場所までの交通費に限られます。会社の業務と私的な余暇を兼ねているため取り扱いは複雑になりますが、今後の新しい働き方のスタイルとして注目されています。

今を生きる

先人の言葉

夢はふか
根はふか

詩人であり、書家でもある相田みつをの言葉。大きな木は地中深くまで根を伸ばしている。同様に、人間も根を深く伸ばさなければ大きな人間にはなれないだろう。